

令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	チタンの革新的アップグレード・リサイクル技術の開発
研究代表者	岡部 徹 (東京大学・生産技術研究所・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、軽量・高強度・高耐蝕部材として今後利用が拡大することが期待できるチタン合金材料を、スクラップのアップグレードによって従来よりも格段に小さなエネルギーで精製し、かつ安価に提供する技術の開発を目標とした画期的な研究である。</p> <p>本研究は、チタンのスクラップ材から脱酸素して高純度のチタン材を得る新たなリサイクル技術に関する研究であり、独自性が高い。また、レアメタルであるチタン材料の需要と有用性ととも、我が国の産業の世界的な位置付けからしても、社会的に重要な研究提案である。</p>